



二〇二〇年度奔流も今号で最後となりました。毎年恒例となりませんが、今号は今年度の卒業生よりコメントを頂きました。

卒業を迎える六名の会員のみなさまの益々のご活躍を期待しております。

- 卒業生の皆様にはアンケート形式にてお応え頂きました。
- ① 五十年を振り返って一言
  - ② 今後の目標
  - ③ 事業PR
  - ④ YEG後輩へ一言

### 令和2年度

大曲商工会議所青年部 相談役

東北ブロック商工会議所

青年部連合会 直前会長

秋田清酒株式会社

代表取締役社長

伊藤 洋平

早いもので五十歳を迎えて半年以上が過ぎました。私は一九七〇年生まれなので、子供のころは三〇歳で迎える西暦二〇〇〇年が

大きな未来で、そこから先なんてほとんど考えたことがなかった気がします。ノストラダムスの大予言とかありましたし、その頃には石油が枯渇するとか言われていたので、世紀末を乗り越えてとにかく二〇〇〇年とか二十一世紀(実際は二〇〇一年から)にたどり着けば、その世界はとてつもなく未来だと思っていました。もはや今年は二〇二二年。「二〇〇一年宇宙の旅」や「バックトゥザフューチャー」の時代を飛び越えて、めちやくちや未来にいるの、あれ?あまり変わらないか、五十年なんて光陰矢の如し、特に三十歳超えてからの時の速さに震撼するこの頃です。

さて、五十を迎えた途端、ソーシャルディスタンスと不要不急の世の中になってしまい、一年が経ちました。でもあと一、二年はそろりと様子見の状況だと思おうので、ちよつと自分を振り返ってみる機会にしようと思いました。今まで仕事とかYEGを言い訳

にしてサボっていた語学とか肉体の作り直しとかです。外国語は、今は海外に行ける見通しが立たないのに、渡航を夢見て再開したいです。肉体は最近子供に腹肉を指摘されるので見返してやりたいです。人生百年時代といわれる昨今、五十歳なら折り返し地点ですが自分の百歳は全く想像できないので、この感覚は子供の頃と変わりのないのか? ただ、もしも足腰立って九十一まで生きれば、もう一度ハレー彗星に会えるので、それを見ながら辞世の句、が最終目標です。

コロナ禍で酒造業界も大変です。とはいえ、もつともつとたいへんな業種の方がいらつしやるので、もつとがんばらなと!と思っています。今はみんなと一緒に楽しんでお酒を飲む、ということが本場に特別なことになってしまいました。家で飲むときも外で飲むときも、その特別な機会をさらに楽しくかけがえのない時間にするお酒を造っていききたいと思えます。そしてその先にお酒にも求められるのは、「持続可能性」かもしれません。酒造りには原料の栽培から精米、醸造、貯蔵まで多くの地球資源の恩恵を

受けています。これからは生産や流通過程でも資源を使い過ぎず、自然サイクルや資源の循環にフィットして、環境の持続可能性を維持できる業態にしていきたいです。

最後に、ちよつと十年間にわたるYEG活動も今年度がラストイヤーとなりました。最初はYEGや親会の組織のことさえ詳しく知らずに入会した私が、図らずも単会会長やブロック大会会長の役職をいただき、ブロック代表理事まで務めさせていただいたことは本当に感謝しかありません。これは単会の皆さんの支え無しでは絶対不可能なことでしたし、特にブロック大会前後の三年間は、とても濃密な時間を過ごさせていただきました。頼りない自分を支え、叱咤激励してくれた現役メンバーそしてOB OGの方々に心から深く御礼と感謝を申し上げます。

最後に、私から後輩の皆さまに伝えたいことを書きたいと思えます。

私がYEGに入ったきっかけは、メンバーが大曲の花火の会場運営を支える姿や、東日本大震災の被災地でサポート活動をする姿

を見て、YEGの素晴らしさを感じたのが原点でした。私自身はそれらの活動を十分やり切る事が出来たわけではありませんが、地域社会の持続や活性化を担い、それを地域経済や自企業の発展につなげていくのがYEG活動の原点です。大曲YEGはまさにそれを体現する活動を続けてきました。今はコロナ禍の状況下、とても難しい判断や活動を強いられるかもしれませんが、どのような時でもその原点が揺らぐことはないと思います。現役メンバーの皆さまにおかれましては、今まで通り地域や自企業を支える気概、従業員と家族を思う気持ちを信じて進んでいただければと思っています。



まちづくり委員会  
発明料理 げんや

高川 忠幸

①生きてきた半分以上は楽しいです。仕事をきちんとしているから趣味が楽しいと感じます。

②これからも仕事が順調に進むようにしたいです。今、トライアスロンを趣味としていっているので、更にグレードアップしたSEATOSUMMIT（カヤック・自転車・登山）という競技にチャレンジしたいです。

③皆様がその季節に食べたい、旬

のものを提供いたしております。いずれは皆さん嗜好が和食に戻ってくるのではないのでしょうか、そんな懐かしい味を楽しんでいただけたらと思います。少人数から10人以上の団体様までご対応できますのでよろしくお願ひします。

④団体行動が苦手な私でしたが、皆さんも自分の志を持って頑張ってください。



研修委員会  
有限会社ベル美容室

高橋 篤

①平和な世の中で生きてこれたこと、国に感謝、皆様に感謝です。

②今までと変わらず、余程のことがない限り、マイペースで生きていきます。  
③技術に関しては自信がありません。宜しくお願ひ致します。  
④今、大変な世の中です。「大変」とは「大きく変わる」とも読めます。今を大きく変えるチャンスにして、精進していきましょう。私も精進します。



令和二年度監事  
株式会社タカヤナギ

代表取締役社長

高柳智史

①気づいたら五十歳になっていました。「人生五十年」と仰つたらしい織田信長さんの心境を推し量りたいです。

②コロナ収束後に会社も家庭も良い状態にあるように今すべきことをきちんとしていくこと。

③各店舗周辺にお住まいのお客様様に役に立つ食生活提案を行っています。新しい食べ方や新しい商品の発見をして頂けることを目標に活動しています。

④まずは「会社第一」で。「会社の成長」と「自分自身の成長」の為に「YEG」という組織を活用して欲しいです。偉そうに言いません。私にはYEGの皆さんと何気なく交わした会話や皆さんの頑張りをみて大いに刺激を頂きました。ありがとうございます！



研修委員会  
創作厨房 五臓六腑

藤嶋 茂樹

①食えることが好きで始めた仕事が何かのきっかけで今現在につながっていますが、若いころに持っていたビジョンとは随分違うような気がします。

②コロナ過の今の現状を持ちこたえること、そのうえでもっとお客様に受け入れられる店づくりをすること。

③「ゲップまで旨い生ビール約束します！」というのが当店のPR用語ですが、ほとんどの方が一番最初に口にする生ビールを美味しく飲んでいただくために、サーバーの洗浄からきめ細かい泡を出すための工夫、グラスの管理など等々そこに全集中の呼吸をもって取り組んでいます。

④会員皆様方の信頼関係が、この先も続いていくことを願っています。



令和二年度監事  
有限会社ワタナベギフトセンター

代表取締役社長

渡邊 聡

①四十歳で大曲YEGに入会して、ちょうど十年。よく人生の折返し点などといわれる年頃ですが、やはり色々と大きな変化が連続して起き、あつという間に過ぎました。

この間にYEGで様々な活動ができたことや、素敵な仲間と出会

えたことにとっても感謝しています。二十周年やブロック大会などいろいろ思い出すと・・・もうけっこう忘れてきてますね！  
でも本当に楽しかったですよ。

②五十歳の今、もつとも興味のあふれることは自分の健康です。半世紀となると、やはり老化を感じることでだんだん増えてくるので、本当に大事なことです。健康のために今年の目標は、運動とダイエットで体重を四キロ減らすことです。

また、とかく暗い話題の多い時代・・・どうにか明るい社会にしていきたい！わけですが、まずは「社会」の最小単位、「家庭」を明るく楽しくやっていきたいです。

③「贈り上手は生き方上手」ということで、贈答を通じて地域の皆様のお役に立てるよう奮闘努力しております。名入れタオル・カレンダーなどのノベルティ制作も含め、常にお客様に最適商品をご提案できる頼れるギフト屋を目指してこれからもがんばります。

④十年間、大変お世話になりました。自分が先輩から支えていただいたように後輩の皆さんに接することができませんでしたの

で、大いに反省しております。すべてコロナのせいにして、そつと卒業したいと思います。これからはOBとして皆様のご活躍を見守りたいと思います。本当にありがとうございました。



# 編集後記

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の懸念や国からの不要不急の活動が中止や延期または縮小を余儀なくされ、YEGとしての活動記録が難しい中でも出来る事を見つけ社会貢献に汗を流す会員の姿は素晴らしいと思う。今年度の年明け早々にはFMはなびにて初の試みとなる2時間生放送を見事に成し遂げました。これからも地域の活性化の為に決められた範囲でも活動をアイデアを出しながらしていく事となると思う。皆様、応援よろしくお願い致します。

広報委員会 三浦 隆吾

